

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	プレゼンテーション I (CH)		(TCR202)
講義名（コード）	TCR_プレゼンテーションI_C		(TCR202C)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	塩見 知恵子	時間数	30
成績評価教員	塩見 知恵子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	自分自身について振り返りながら、日本語の正しい使い方を学ぶ。
授業時間外の学修	授業内で学んだことを復習する。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	日本のビジネス文化について自ら考えることができる①	【就活】『就職活動テキスト』復習：メール、書類送付状の書き方 【BJT】聴読解 【ビジネスルール・マナー】「日本人と働く心構え」
2	日本のビジネス文化について自ら考えることができる②	【就活】『就職活動テキスト』復習：志望動機 【BJT】聴読解 【ビジネスルール・マナー】「ウチとソトの関係」
3	【課題】志望動機を書くことができる	【課題】志望動機を書く
4	相手に伝わる志望動機を書くことができる	【課題FB】志望動機について考える（グループ活動）
5	集団面接を受けることができる①	【就活】『就職活動テキスト』第5章 面接 面接の練習 【BJT】聴読解、【ビジネスルール・マナー】「敬語の使い方①」
6	集団面接を受けることができる②	【就活】『就職活動テキスト』第5章 面接 面接の練習 【BJT】聴読解、【ビジネスルール・マナー】「敬語の使い方②」
7	グループ面接を受けることができる①	【就活】『就職活動テキスト』第5章 面接 面接の練習（グループ活動） 【BJT】聴読解、【ビジネスルール・マナー】「配慮のある話し方」①
8	グループ面接を受けることができる②	【就活】『就職活動テキスト』第5章 面接 面接の練習（グループ活動） 【BJT】聴読解、【ビジネスルール・マナー】「配慮のある話し方」②
9	グループ面接を受けることができる③	【就活】『就職活動テキスト』第6章 面接 面接の練習 【BJT】聴読解、【ビジネスルール・マナー】「話の進め方」
10	グループ面接を受けることができる④	【就活】『就職活動テキスト』第5章 面接 面接の練習 【BJT】聴読解、【ビジネスルール・マナー】「話の聞き方」
11	個人面接を受けることができる①	【就活】『就職活動テキスト』第5章 面接 面接の練習 【BJT】聴読解、【ビジネスルール・マナー】「チームワーク」①
12	個人面接を受けることができる②	【就活】『就職活動テキスト』第6章 面接 面接の練習 【BJT】聴読解、【ビジネスルール・マナー】「チームワーク」②
13	前期の復習	前期の重要ポイント
14	期末試験	期末試験
15	追試	追試

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	就職活動テキスト（1年生時に使用したもの）
参考文献・資料等	BJT聴解・聴読解、学生手帳、『ビジネスマナーとルール』、『10の基本ルールで学ぶ 外国人のためのビジネス文書の書き方』『10分シャドーイング』
備考	